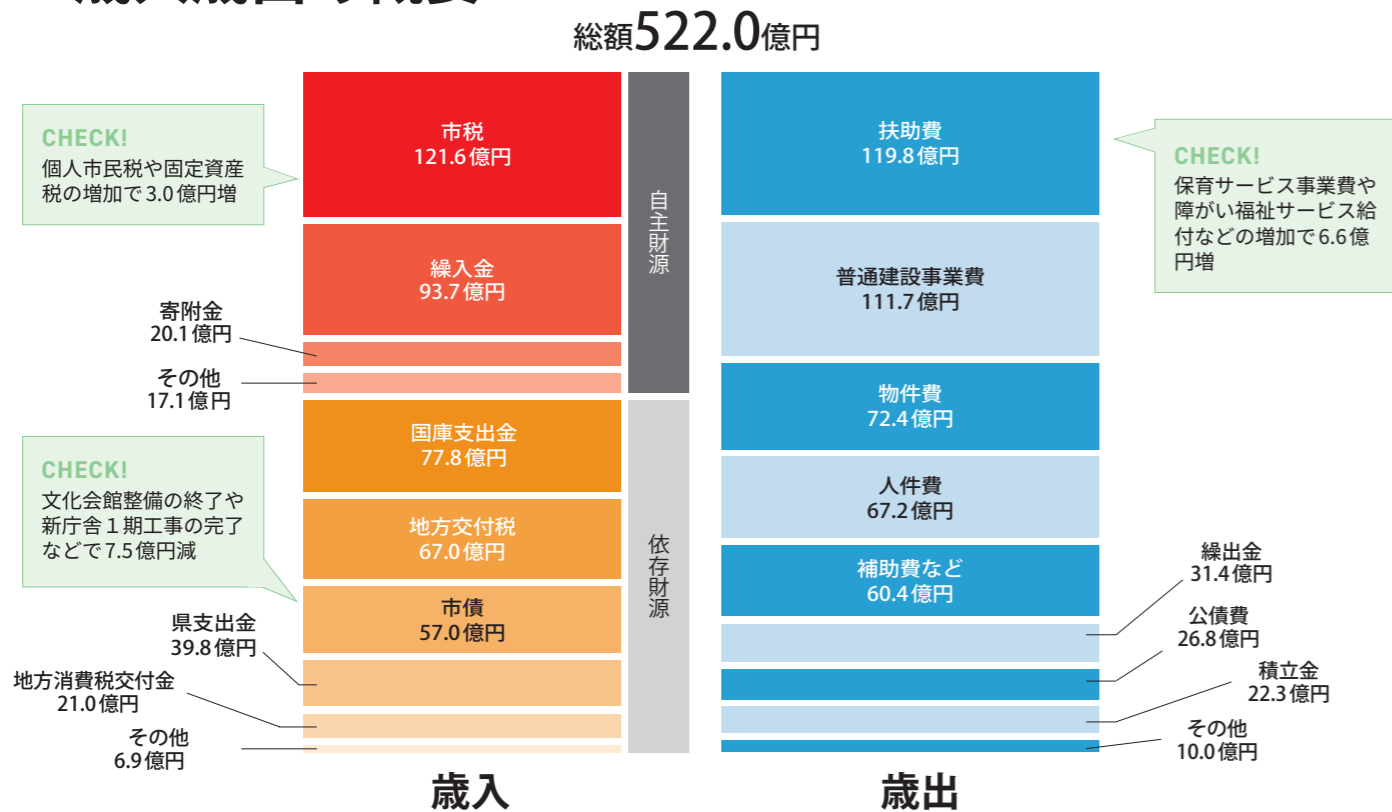


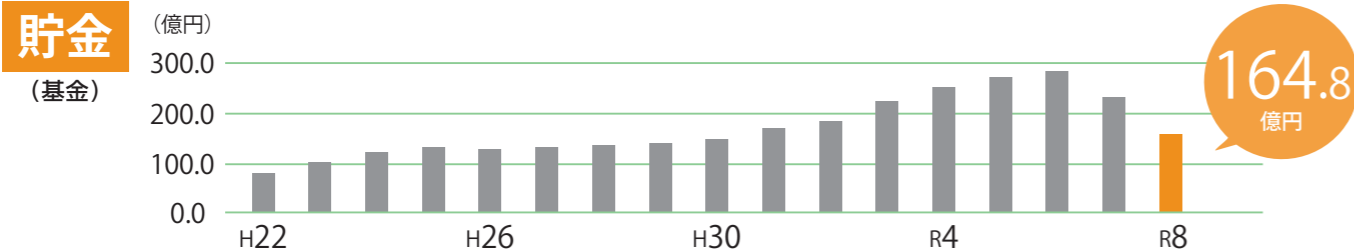
▶ 歳入歳出の概要



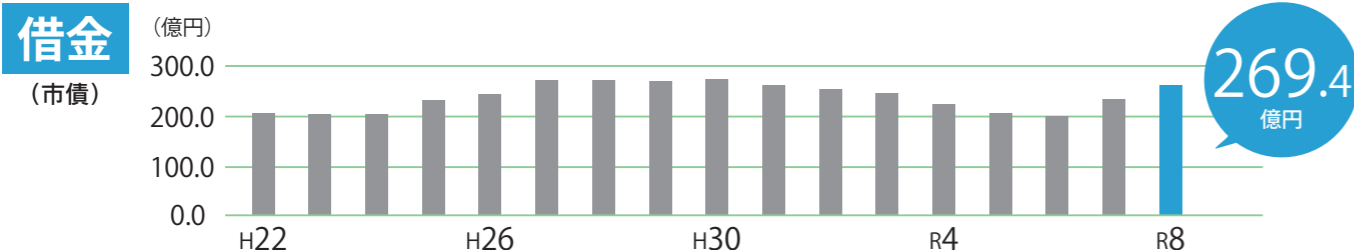
用語解説

- | | |
|---|--|
| <p>歳入</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰入金：財政調整基金やふるさと応援基金からの取り崩しなど 寄附金：ふるさと納税など 国庫・県支出金：国・県からの支援 地方交付税：国から分配される税収 地方消費税交付金：国から交付される地方消費税 市債：新庁舎整備などの建設事業の借金 | <p>歳出</p> <ul style="list-style-type: none"> 扶助費：生活保護、子ども・子育てや障がい福祉など 普通建設事業費：道路や学校などの建設事業 物件費：備品購入費や委託料など 補助費など：各団体への負担金や補助金など 公債費：市の借入金返済 繰出金：国民健康保険などの特別会計への支援 |
|---|--|

▶ 基金と市債の状況



これまで大型施設整備の実施に備えて着実に蓄えてきた貯金の取り崩しにより、前年度から71.1億円減少し、残高は164.8億円になりました。



新市庁舎や安土コミュニティエリア(CA)などの整備に伴い、借金が前年度から32.9億円増加し、残高は269.4億円になりました。

令和8年度

まちの予算

予算総額 **970億9,152万9千円** (特別会計、企業会計を含む。対前年度比1.0%増)

令和8年度当初予算は、4月に行われる市長選挙を見据え、新たな政策的経費を除いた「骨格予算」として編成しました。市政運営の停滞を避けつつ、最大限に市民の皆さんへの行政サービスの提供に対応する予算としています。

なお、市長選挙後の市長公約や新たな政策的経費は、6月市議会定例会で「肉付け予算」として編成します。

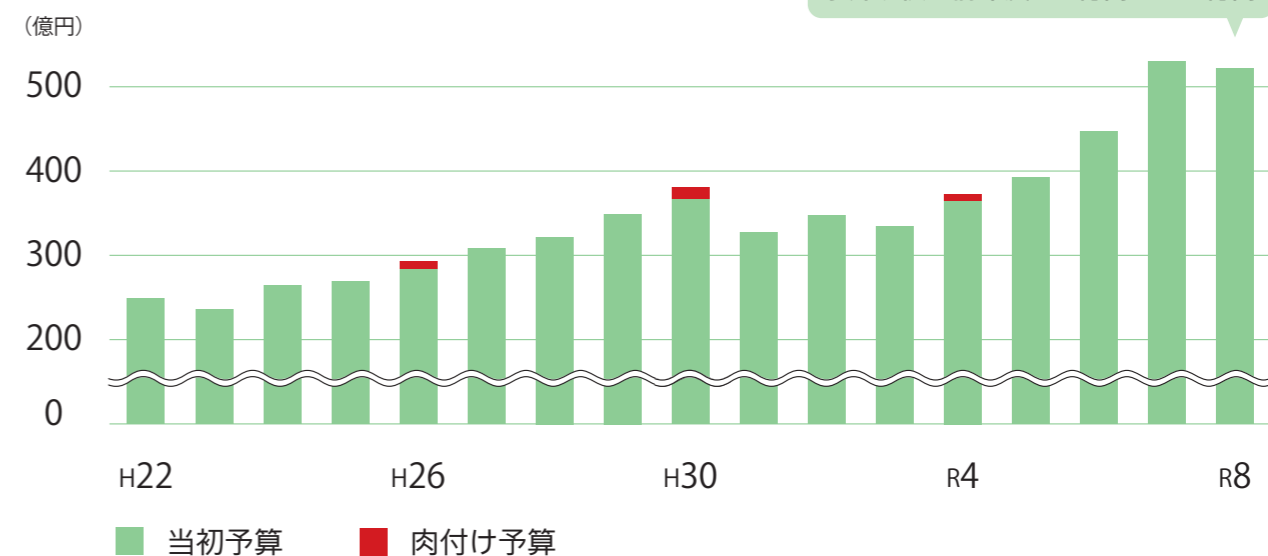
詳しくは市ホームページで

今年度の各会計別の予算書や予算の概要は、市ホームページや市情報公開コーナー（本庁舎1階、安土支所1階）でもご覧いただけます。

問 財政課 TEL (36)5750・FAX (32)3237・HP 41183

▶ 一般会計予算額の推移

(+：増、△：減)



予算の主な特徴

- 安土CA整備事業が本格化するものの、八幡西中学校長寿命化整備事業の前倒しにより、普通建設事業費は前年度並 $\Delta 0.06$ 億円
- GIGAスクール構想における1人1台端末の更新完了などにより物件費が減少 $\Delta 8.2$ 億円
- 国スポ・障スポ大会の終了などにより補助費などが減少 $\Delta 6.2$ 億円
- 義務的経費（人件費・扶助費など）の増加 $+ 6.2$ 億円

福祉・医療・人権

ひまわり館の改修

3億1,301万円(福祉政策課)

ひまわり館(総合福祉センター)を、新たに健診(検診)機能を備えた施設として整備します。



障がい児者福祉施設の整備

1,535万円(障がい福祉課)

重度障がい児者が通える事業所の不足解消のため、医療ケアが必要な障がい児者や重症心身障害児者を対象とした事業所を市内の既存の施設を改修して整備します。



産業・観光振興

安土城築城450年記念事業の実施

3,200万円(観光政策課)

安土城築城開始から450年を迎えることを記念して各種イベントの開催やPRなどを実施し、地域の機運醸成と誘客促進を図ります。



環境・歴史・文化

「うちエコ診断」の実施

18万円(環境政策課)

家庭での節電や省エネ行動を進めるため、省エネ・節約方法を提案する「うちエコ診断」をコミュニティセンターなどでのイベントにあわせて実施します。



都市基盤整備

スマートロードAIシステムの導入

1,000万円(土木課)

AIを活用して、道路空間での設備の検出と劣化状況をデジタル化し、電子地図上で情報管理を行うことで、市道の維持管理業務の効率化を図ります。



スマート交通と免許証返納支援

353万円(交通政策課)

市民バス運賃を事前に登録されたICOCAで支払う人と、運転免許証を自主返納した65歳以上の市民に対して、WESTERポイントを交付します。



地域自治・行政経営

新庁舎の整備と南別館の改修

28億5,705万円(管財契約課)

市役所新庁舎のグランドオープン(12月予定)に向けて、新庁舎の2期工事、旧庁舎の解体工事、外構工事などを実施するほか、南別館のエレベーターの新設工事、建物の改修工事などを行い、庁舎機能を集約し、都市整備部門・水道事業所などの建設関連行政サービスの提供を行います。

コンビニでの本籍地証明交付サービスの追加

264万円(市民課)

本籍地が本市であれば、他市に住民登録のある人でも戸籍証明書がコンビニエンスストアで交付できる、本籍地証明交付サービスを導入します。



令和8年度 主な事業

今回は、整備が本格化する安土コミュニティエリア整備関係事業と、「近江八幡市第1次総合計画」に掲げられた6つの基本目標に沿った重要テーマごとに、主な事業をご紹介します。
※担当課名は令和8年3月時点の名称を掲載しています。

アイコンの説明



ふるさと応援寄附金活用事業

全国の皆さんからいただいた、ふるさと納税寄附金を活用した事業です。

安土コミュニティエリア整備

安土コミュニティエリアの一体的な整備

11億8,675万円(安土コミュニティエリア整備推進室)

安土小学校、地域防災センター(コミュニティセンター、消防分団詰所)、こどもの家(放課後児童クラブ)の一体整備に向けて、用地造成やインフラ整備などに必要な工事を実施します。

安土小学校施設整備

35億4,188万円(教育総務課)

学校、地域が連携し、教育内容の変化や多様な学習環境に対応できる施設づくりを行います。



地域防災センターの整備

9億627万円(まちづくり協働課)

災害時は安土学区の現地本部や避難施設、平常時は地域コミュニティの拠点として活用する、地域防災センター(コミュニティセンター)の建設工事を開始します。



こどもの家の整備

3,514万円(子育て政策課)

安土小学校区における放課後児童クラブの受入枠を確保するため、安土コミュニティエリア内に、新たな放課後児童クラブ専用施設(こどもの家)を整備します。

教育・人づくり

保育人材確保を推進

350万円(幼児課)

民間保育施設に新規雇用された保育士などに、給付金を支給することで、人材確保を進め、待機児童の解消につなげます。



中学校での水泳授業を民間プールで実施

502万円(学校教育課)

猛暑などの天候に左右されない計画的な授業時間の確保などのため、水泳授業を民間に委託します。今回は、長寿命化工事に伴いプールの取り壊しを行う八幡西中学校で実施・検証を行い、市内全中学校に広げることを検討します。

沖島わくわく探検隊

491万円(学校教育課)

国の日本遺産に認定されている沖島に、市内の小3年生全員が学校ごとに訪れ、体験的なふるさと探究学習を行うための支援を行います。

小中学校給食費の無償化

4億505万円(学校給食センター)

学校給食費の無償化と学校給食費補助金の交付により、給食費の経済的負担の軽減を実施します。

